

皇太子杯金閣與手續第二條

加條條此旨相違候事

大藏大臣三條實美

以換フルコトアル

沖繩札幌換置ノ三縣ヲ除ク

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

各 鎮 臺

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

府縣駐在所及ヒ郡區駐在所

陸軍卿 西郷從道

明治十七年二月十四日 天城縣書部長從六位 藤田 健

時事新報

何故ニ東海道鐵道ヲ布設セザルヤ

鐵道ヲ布設スルニ種々ノ目的アリ眼前直接ノ利益ヲ目的トシテ其布設ヲ可決スルモアレバ又間接永遠ノ利益ヲ目的トシテ其布設ノ要ヲ觀クモアリ例ヘバ東京大坂間ニ鐵道ヲ布設スルガ如キハ其利潤ノ大ナル固ヨリ疑ナク容レズ蓋シ東京大坂ハ日本ノ中央部ニ在リテ東西ニ對峙スル二個ノ大都會ナリ徳川幕政以來今日ニ至ルマデ商業上ノ取引其他一般ノ人事ニ關シ東西兩都會ノ間ニ往來交通ノ頻繁ナル實ニ日本第一ノ位スルモノナリ此兩都會ヲ聯絡スル鐵道ヲ敷キ更ニ其往來交通ヲ便ニセシムハ現在ノ僅ノ有様ニテモ其利益以テ此鐵路ヲ維持シテ餘リアルベキハ辨テ俟タズメテ明白ナルベシ斯ノ如ク先ヅ直接ノ利益ヲ目的トシテ鐵道ヲ布設スルハ尋常普通ノ方法ニテ甚ダ安全ナルモノト云フベキナリ又間接永遠ノ利益ヲ目的トシテ布設スル鐵道ノ如キハ或ハ其線路ヲ無人ノ地ニ通シテ種民ヲ促カシ或ハ國境要害ノ地ニ連シテシメテ軍備ノ欠ヲ補フモノ、類ニシテ現時其線路ノ運輸上ヨリ収入スル所ノ利潤ノ如キハ當分コレヲ計算ノ外ニ置クモノナリ例ヘバ日本鐵道會社ガ線路ノ方向ヲ北ニ取リ宇都宮、白河、福島ヲ經テ仙臺ニ達シ又更ニ北ニ進ニ盛岡ヲ經テ青森ニ達セントスルガ如キ其目的トスル所ハ當分利ヲ主ヘノ利益配當ヲ大ニセントスルニテアラスシテ此鐵道ヲ通シテ三陸空濱ノ地方ヲ始メ遠シ北海道薩州ニマデ往來交通ノ大便利ヲ與ヘ依テ以テ全國永遠ノ利益ヲ他年ニ期セントスルニ在ルモノ、如ク然リスノ如ク後年ノ利潤全國ノ利害等ヲ目的トシテ布設スル鐵道ハ一種ノ變則布設法ニ依ルモノニシテ尋常商業上ノ計算ヲ以テ論スベカラザルモノト知ルベシ既ニ商業上ノ計算ヲ用フベカラズ尋常ノ財主ニ向ヒテコレニ其實本ヲ投セト云フハ固ヨリ無理ノ要求ナルヲ免カレザルヲ以テ我輩ハ今全國有志ノ財主ニ向ヒテ鐵道ヲ布設スルハ最モ利潤多キ所ヨリ先キニスベシト勸告シ當分尋常法ニ從ヒテ進行セシムコトヲ欲スルナリ

我輩今日日本八十餘州ヲ通觀シ何レノ地方ニ向ヒテ先ヅ商業上ノ鐵道ヲ通スベキヤト云フニ第一ニ着手スベキハ東京ヨリ大坂ニ至ル東海道ノ線路ナリト考ルナリ此鐵道線路ニ當タル相模、伊豆、駿河、遠江、三河、尾張、伊勢、伊賀、大和、河内、攝津、以上十一ヶ國ノ土地ハ其面積千六百萬方里餘(日本里法)コレニ住居スル人員ハ總數五百四十萬ナリ即チ平均一方里ノ人口三千三百七十ニシテコレヲ日本全國ノ土地一方里ニ付人口千四百八十ノ平均數ニ對照スレバ東海道ノ人口稠密ハ凡ソ二倍半ノ超過ナリト知ルベシコレヲ故ノ勢城

岩代、陸前、陸中、陸奥地方ノ土地一方里ニ付人口平均九百ニ足ラザルモノニ比スレバ固ヨリ同日ノ論ニアラザルナリ東海道鐵道ノ區域内ニ在ル人口ノ衆多ナルヲ既ニ斯ノ如ク人多ケレハ人事多ク其生計供給スル所ノ產物モ多ク需用消費スル所ノ物品モ多ク旅客ノ往來荷物ノ輸送其事務ノ繁多ナルハ言ハズシテ明白ナリ况シヤ百餘萬人ノ住所ナル東京ト關西貿易ノ中心タル大坂トノ間ヲ往來スルコトハ陸路東海道ヲ行クヲ以テ最捷路ト爲スニ於テチヤ東海道鐵道ノ繁昌スベキハ我輩ノ固ク信シテ疑ハザル所ナリ

今東海道鐵道ノ路筋ヲ案スルニ東京橫濱間ノ線路ヲ延長シテ箱根山ニ至リ此山脈ヲ橫斷スルニハ或ハ酒匂川ノ沿岸ヲ溯リテ富士ノ裾野ヲ西南ニ下ルカ或ハ伊豆ヲ廻リテ駿河ニ入ルコトヲ遠江、三河ヲ經テ名古屋ニ達シ西南ニ向ヒテ伊勢ニ入り伊賀ヲ經テ大和ニ下リ河内ヲ過キテ大坂ニ達スルコトヲ遠江或ハ伊勢以西ノ線路ハ伊賀大和ニ往カズシテ近江ニ出テ山城、河内ヲ經テ大坂ニ達スルヲ以テ便トスルコトモアランカ兎ニ角ニ線路ノ測定ハ實地ニ就キテ技術家ノ說ヲ聞クノ後ニアツザレバ我輩ガ擅ニ之ヲ定メ得ベキ限リコトアラザルハ勿論ノ事ニシテ今ハ唯其大體ヲ示スルニ或ハ曰ク東海道鐵道ノ人口富庶ニシテ且テ東京大坂間ノ最捷路ナルモノハ此地方ノ外ニ求ムベカラザルコト無論ナリト雖モ唯如何セン東海道鐵道線路コトハ富士川、大井川、天龍川、木曾川ノ類ノ如キ日本有名ノ大河ノ其路ニ當タルモノ多ク此諸大河ニ架橋スルノ費用ハ必ズ幾百萬圓ニ上ルコトナラン即チ尋常ノ布設費外ニ要スルノ臨時費ニシテ爲メニ鐵道營業上ノ出入計算ニ容易ナラザル影響ヲ及ボスコトナラン營業ノ利潤甚ダ豊東ナキナリトテ兎角適ムコト法ナルノ說ヲ爲ス者ナキコトアラズト雖モ畢竟未ダ線路ノ大體ヲ通觀セズシテ先ヅ架橋ノ費ニ驚ク者ト云フヘキナリ東京ヨリ大坂ニ至ル其距離大略百三十里此間ニ鐵道ヲ布設スルノ總費額ハ必ズ千萬ヲ以テ數ヘザルベカラズ途中數條ノ大河アリテ幾百萬圓ノ増額ヲ要ストスルモ其影響ノ及ブ所營業全体ノ損益上ニ格別ノ差違ヲ見ルニ至ラザルヤ明カナリコレヲ取リテ沿道人口ノ富庶ト東西兩都會ノ最捷路タルトノ日本全國一種無類ノ利益ニ比照スレバ實ニ論ズルコト足ラザル小頼ノ費用ナルベキナリ故ニ我輩ハ全國ノ有志者別シテハ東海道十餘ヶ國ノ有志者ニ勸告シテ速カニ日本第一ノ好線路タル東海道鐵道ヲ布設アラントテ希望スルナリ

○御寄附 東京府下官幣中社日技神社へ 聖上の恩召を以て白絹御太刀(銘備前長光)一振を一昨日御寄附あらせられたり

○觀梅の御宴 赤坂飯屋居御苑内の梅林は日々に追て咲綻びるに近日 聖上兩后皇宮に右御苑内の御茶屋書香亭へ成せ給ひ皇族大臣參議等へ御陪席を仰付られ觀梅の御宴と開くせ給

○伊皇遣 野公使よ 逸次遊味 携来した には遣ひた ては果し 覺束さき あると知

○熱海行 るとのと 新開權大 育博物館

○河瀬山 七日京都

○官廳彙 商務省御 始審裁判 兵中佐真 兩鐵道並 へ出張を 重縣出張 今五等官 氏同十 少佐左乙 れ會電報 せられた 局業務仰

○宮内省 と以て其 信なるに

○博覽會 會へ我國

○農商部 課を置き

○砲臺 局にて右

○行軍 倉地方へ

○警備 今年 上直に生

雜報